

第4回「大賞」コメント

書名：死神うどんカフェ1号店

著者：石川 宏千花

死神！？うどん！？カフェ！？誰もが2度見してしまうようなタイトルに加え、素敵な表紙。

ただの「ほのぼの青春物語」ではなく、笑いがありながらも命について深く考えさせられるシリーズ。

共感できること、心に響く名言が詰まったこの作品を何度も読んでしまうのです。どんな人でも楽しめます！（原文ママ）

P.N：きちょう

第4回「優秀賞」コメント

書名：100万回生きたねこ

著者：佐野 洋子

この本の主人公はとても性格が悪いです。何回よんでもイラッときます。でも何回読んでも最後、感動して涙が出てきます。せつなくて、色々なことを考えます。私はこの本を別れた恋人に送りました。なぜなら、主人公の猫にそっくりなんです。いつか、本当に愛する人ができて幸せになってほしい。大切なことを教えてくれる本です。（原文ママ）

P.N：ぶん太

第4回「特別賞」コメント

書名：ペンネームは夏目リュウ！

著者：濱野 京子

ぼくは、宏樹のように読書が大好きである本がきっかけで小説を書こう。という気持ちになりました。その本がペンネームは夏目リュウで、本のおびに「読むのは楽しい、でも書くのはもっと楽しい」の言葉を読んで書くという気持ちになりました。何度も読むたびにわかる事があるので何度も読みたい本です。（原文ママ）

P.N：佐藤 将成